

門田 明先生の御退職に寄せて

清々しい深緑の季節を迎え、新カリキュラムでの初年度の新入生が入学し、本学の一つの節目の年度がスタートしたばかりですが、文学科英語英文学専攻としましては、平成7年3月末日をもって門田教授が定年退職されましたため、大きな柱を失った感じで、門田教授の存在の大きさを改めて感じている今日この頃です。本学人文学会は、論集『人文』19号を、研究・教育・管理運営などさまざまな面で御指導を賜りました門田教授への感謝のしるしとして、刊行することになりました。

門田教授は、神戸大学経済学部および教育学部英語科を御卒業され、日向学院短期大学講師等を経られ、昭和41年に本学に御着任以来、29年間の長きにわたり、教育・研究に御専念され、数々の顕著な業績をあげられました。特に、ケンブリッジ大学客員研究員、カリフォルニア州立ソノマ大学客員研究員の御経験に基づく幅広い国際的視野での熟成された教育は、学生の薫陶に非常に影響を与えていらっしゃいました。具体的な担当科目は、実用英語、英米文学演習、英米文学講読、英語などで、常に青年の様な情熱を持って学生の教育に当たられ、全人的教育にも専念され、英国紳士の名に相応しい教授としての定評もありました。その何時も変わらぬ真摯なお姿に、私どもは、常に敬服の念を抱いておりました。また、その顕著な御功績により、平成2年10月、文部大臣から短期大学功労者の表彰を受けられました。

また、御研究の面でも、多忙な英文専攻主任教授等の任を長年こなされながら、常に、学術的価値の高い論文・著書を多数発表され、日本商業英語学会、日本貿易学会、日本英学史学会などでの御活躍などは、周知のことで、私どもは、教授のバイタリティーに畏敬の念を払うのみでした。特に、実用英語、薩摩英学史において顕著な業績をあげられ、『旧薩摩藩初代欧米留学生の研究』によって、昭和62年10月にMBC賞を、『若き薩摩の群像』等で、平成4年10月に日本英学史学会豊田実賞を受賞されました。

更に、本学の管理・運営面でも、地域研究所長、第二部部長の管理職を歴任され、学外においても、サンタローザ友好協会副会長、日英協会理事などを歴任されています。

このような長年の御功績により平成7年5月に本学名誉教授の称号が授与されました。御退職後も、門田教授のなお一層の御健康と御活躍を祈念いたしますとともに、本学へのお力添えをお願い申し上げたいと思います。

平成7年5月

鹿児島県立短期大学文学科英語英文学専攻代表

久木田 美枝子